■参考例その4　：業務に必要な資格～採用後に必要な資格を取得～

〇申請企業：運輸業　資本金2,000万円　従業員数36人

〇研修実施について：B社ではこれまで準中型以上の自動車運転免許を保有する人材を採用してきたが、近年では応募者が集まらず採用に苦慮していた。そこで、未経験者や経験の浅い者に対しても募集を広げ、採用後に必要な免許を取得させる方針に転換した。

〇研修対象者：令和5年度の新規採用者1名（職場体験付き求人での雇用）／社外研修

＜研修内容＞

（1）研修の目的等

・研修の目的：準中型自動車運転免許の取得
・資格取得等：準中型自動車運転免許
・業務との関連性：配送業務に就かせるため必要
・従前の研修との比較：より効果を高めるための工夫や内容を盛り込んでいる
（理解が深まるよう、自社社員によるポイントの説明を実施）

（2）研修カリキュラム

研修日	時　間	場　所	内　容	講　師
7月10日（木）～9月29日（金）のうち20日間	9：00～17：00 （各日1～4時間 ＜4時間×16日 3時間×3日 1時間×1日 合計74時間）	○○自動車教習センター	準中型自動車運転免許教習	○○自動車教習センター

（3）補助対象となる金額

▶経費の予定額
・講習参加費　440,000円×1人＝440,000円（テキスト代、教材費含む・消費税含む）
※対象経費に消費税は含まないため、440,000円÷1.1＝400,000円が補助対象経費
・研修受講時間：74時間

▶補助金額
① 研修経費　400,000円×1/2＝200,000円　基準額　8,000円×20日＝160,000円
低い方の160,000円
② 賃金相当額　@1,100円×74時間＝81,400円
③ 補助対象金額①＋②＝241,400円

（4）参考例のポイント

・消費税は補助対象にならないため、税抜きで計算する必要があること
・研修日数は実際に研修を行った日でカウントすること